

長野県木曾青峰高等学校 令和4年度第1回学校評議員会 記録

日時 令和4年7月15日（金）午後3時30分から午後5時00分

場所 木曾青峰高等学校会議室

出席者 学校評議員 同窓副会長、PTA会長、定時制教育振興会長、（木曾福島）丘の上区長
木曾障がい者総合支援センターともに・就労支援ワーカー
学校職員 校長、全日制教頭、定時制教頭、定時制教務主任
進路指導主事、生徒指導主事、1学年主任、2学年主任、3学年主任
理科主任、森林環境科主任、インテリア科主任

1 開会

2 学校長挨拶

3 学校からの報告

4 学校評議員からの質問・意見・要望等

（ICT機器を使った授業について）

（評議員） 中学校でタブレットを使って学習してきたが、板書のノートを取れないということが発生してきているとお聞きしている。文部科学省で統一した方針などはあるのか。

（評議員） 学校によっても状況が違う。小規模の小学校では子どもが皆、使いこなしている。学校の人数によっても違うが同じ町でも状況が違うようだ。

（評議員） 先生がパソコンを使いながら授業をしている。昔は生徒も授業を緊張しながら受けていたがそのような様子はない。感心して見させていただいた。

（評議員） 1年生は静かに授業を聞いているが、英語は板書の授業であった。体育理論はスクリーンでVRの映像を見せて授業していた。理論をしっかり説明していたのでよいと思った。

■学校としてはタブレットを使っていく方向である。先進校では、タブレットなどでノートをとる場合や、紙を写真に撮って送るなど対応していた。教科によっても違うので、教員のスキルアップを進めていきたい。

■黒板に向かって書いていくだけの授業は変える方向が全国の流れである。ICT化の進捗状況について情報共有するなどして教育活動に活かしていきたい。

（文化祭を訪問して）

（評議員） 文化祭というものを初めて体験した。生徒たちが一生懸命やっている姿を実感した。

（評議員） 保護者の立場で内面的に学校を見させていただいている。一生懸命取り組んでいる姿がうれしかった。普段なかなか見ることができない姿が見られた。地域の方はいらっしゃらなかったが活発な文化祭であったと思う。

■文化祭はお祭りの部分と文化的な部分があると考えている。本校の文化祭は両方の側面が実施できていると判断している。

（施設設備の改修について）

（評議員） 施設改修の時期は授業や部活への影響はないか。

■授業への影響は最小限になるよう工夫している。トイレの改修も順次すすめていく。

（地域との連携について）

（評議員） 以前、花いっぱい運動を森林環境科の生徒に協力してもらって行っていた。コロナが収束したらまた、一緒に行なっていただけるとありがたいと思う。

(生徒募集について)

(評議員) 森林環境科については、専門的な学習のできるよい施設があるとお聞きしている。ICTも進んでいるので高校の専門段階から学ばせてほしい。ドローンの利用なども扱っていたらありがたい。もう少しアピールをしていただければ、全国も含め生徒募集にもつながるのではないかな。

■地域に対しては紙媒体での発信をしている。今年度は他県からも体験入学への申し込みも複数件ある。ホームページを見たと思われるので、デジタルメディアを利用した情報発信も工夫したい。

■専門の学習についても、よりよいものを提供していきたい。

5 その他

6 閉会